

デッキ材の長期使用後のメンテナンス

長期ご使用により、製品が徐々に変色したり、荒れが目立ってくる場合があります。そのような場合は、製品表面を洗浄後、塗装をすることでより長くご使用いただけます。

塗料を購入される場合は、一般のソリッドカラー塗料も使用可能ですが、デッキNDの肌触りを残したまま、メンテナンスするにはオイルステイン塗料のほうが優れています。

推奨塗料 ・玄々化学工業(株) サドリンClassic (木材保護着色塗料)
お問い合わせ電話番号 0567-28-9207 <http://gen2.co.jp/>

デッキ色	サドリンClassic
LB	W0-0094 メイズ
DB	W0-0003 チーク
RB	W0-0098 パドーク

耐久性としては2-3年に1回塗り替えしていただければより長持ちします。

①表面洗浄

製品にホースなどで水をかけ、大まかに砂や泥汚れを洗い流します。次に、水を含ませたスポンジに中性洗剤をつけて製品表面をよく洗浄します。洗浄後、再びホースなどで水をかけ、洗剤が製品表面に残らないように気をつけます。

②乾燥

雑巾やタオルなどで、製品表面に付いた水をふき取ります。しばらく、自然乾燥し、水分が飛ぶのを待ちます。手で触れて、手が湿らなければ準備完了です。

③塗装

オイルステイン塗料(油性)は布(ハケなどで塗装することも可能ですが、木材のような吸い込みがありませんので 過剰に塗布する可能性があります)などにしみこませ、製品表面に刷り込むように塗料を塗布します。全体的に薄く濡れるほうが仕上がりは良好です。色が濃い場合は希釈シンナーで希釈してください。その後、自然乾燥してください。

※注意

オイルステイン塗料は、シンナーを含みますので、塗料から発生する蒸気を長時間吸い込むと気分が悪くなったりすることがあります。居室の窓を閉め、居室内に蒸気が入らないようにしてください。また、塗装作業はマスクをして、晴れて風通しの良い日に行ってください。塗料がデッキ面材の隙間から垂れると、ふき取るのが困難なので、垂らさないように注意して塗装してください。塗料取り扱い中は、手袋などをして皮膚に触れないようにしてください。(その他塗料に記載の事項を守ってください)

ご使用上のご注意

- 汚れ落としにシンナーを使用しないでください。シンナーの種類によっては、溶解することがあります。中性洗剤で落ちない油性の汚れは、ベンジンやアルコールをご使用ください。
- カビキラーなどのアルカリ系薬剤、酸性漂白剤などで変色することがありますので、お避けください。また、カビキラーや酸性漂白剤(サンポールなど)は、デッキ下地の金属製根太を腐食させますので、薬剤を床下に流さないようにしてください。誤って流れた場合は、大量の水を十分流してください。
- 軽い汚れの場合は、消しゴムなどでも落ちる場合があります。多少ツヤが変わることがありますが、性能上の問題はありません。
- 本製品は天然の木粉を原料に使用しているため、原料の色調により製品の色にばらつきがあることがありますが、性能上の問題はありません。
- 本製品は木質感をだすために表面の粗し加工を行っていますが、粗さに製造上のばらつきがあります。また、木材のささくれのように見える毛羽が表面にある場合がありますが、木材のようなささくれは起こりませんので、刺さることはありません。歩行により徐々に毛羽はなくなりますので、ご安心ください。毛羽が気になる場合は、1000番程度の目の細かいサンドペーパーで軽くなでるように擦ると平滑になります。
- デッキ面材表面は吸水性が少なく、製品形状と水の表面張力により雨水が乾きにくいことがあります。特に日当たりが悪い場所では雨水が乾きにくいので、モップや水切りワイパーなどで軽く水を取り除くと、早く乾燥します。

- 商品についてのお問い合わせは販売代理店または弊社まで



本社/福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

北海道 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
東関東 ☎(029)841-7611 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400
千葉 ☎(043)247-3651 西東京 ☎(042)529-3911 神奈川 ☎(045)470-1050
新潟 ☎(025)241-7832 北陸 ☎(0776)38-8010 静岡 ☎(054)288-3600
京都 ☎(075)662-2315 岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211
高松 ☎(087)822-2301 福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220
沖縄 ☎090-1943-2112

<http://www.fukuvi.co.jp>

このたびはプラスッドデッキNDをお買い上げくださりましてありがとうございます。
この商品を末永く、安全にご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。
この説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管ください。

安全上の注意

ご使用になる前にこの「使用時の安全上の注意をよくお読みの上正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
下記の表示の意味と内容は下記のようになっています。

警告 この表示の注意事項を無視して誤った使い方をすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示の注意事項を無視して誤った使い方をすると人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

● その他の記号の意味

- ⚠ 「ご注意ください」という注意喚起または警告を含んだ内容であることを示します。
- 🚫 「～しないでください」という「禁止」を示します。
- 🛑 「必ず実行してください」という強制を示します。

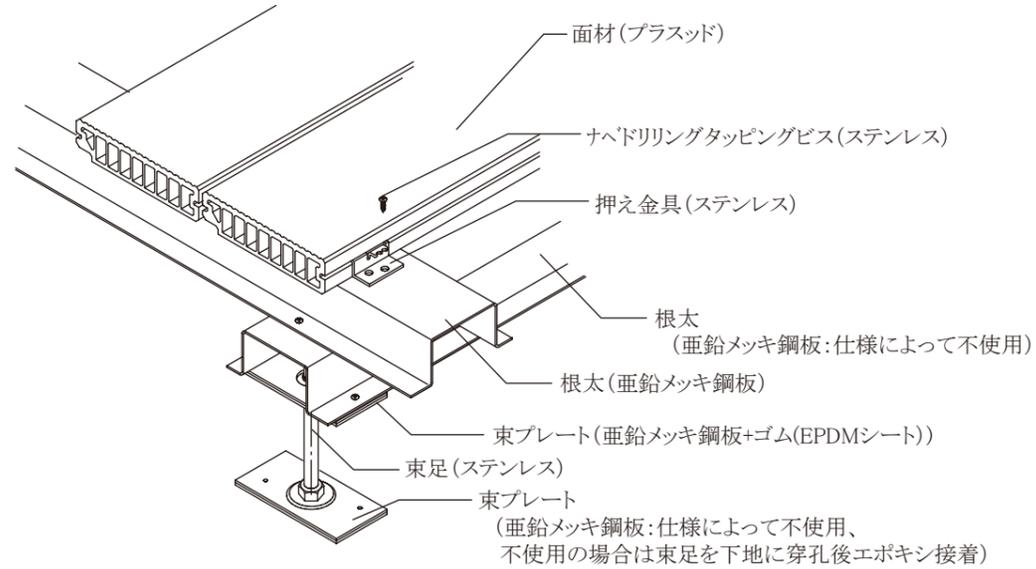
警告

	火気を近づけないでください。燃えたり、変形することがあります。		強い衝撃で床板やデッキパネルをたたいたり重いものを落としたり、鋭利な刃物で傷をつけたりしないでください。部材の破損などでケガをすることがあります。		日中日差しの強い時期に素足でデッキの上を歩かないでください。デッキ表面が高温になりヤケドをすることがあります。特に幼いお子様はご注意ください。
	デッキが雨等で濡れているときは滑りやすくなっていますので、転倒しないよう注意してください。雨水は、モップなどで取り除いてください。		デッキの面材の間や壁際との隙間に指を入れしないでください。指を骨折したり、ケガをすることがあります。		点検口をあける際は、金属製根太などで手を切る恐れがありますので、必ず手袋をして、気をつけて作業してください。
禁止					
本商品は人が歩行するデッキ用途に設計、製造されていますので、それ以外の用途での使用は思わぬ事故につながり危険です。絶対におやめください。					

注意

	デッキ表面に食べ物を落としたり速やかに中性洗剤などで清浄にしてください。特に油性の物が付着した場合は、油シミになることがあります。ただし、製品の強度などには影響しません。		シンナーなどの有機溶剤を接触させないでください。溶けたり、変色することがあります。
	強アルカリ		デッキ面材の溝から、コインが落下しにくい構造を採用していますが、コインが絶対に落ちないというわけではありませんので、コインなどを落下させないように気をつけてください。
	注意		薄手のストッキングや靴下で直接歩かないでください。ストッキングや靴下が破けることがあります。

プラスッドデッキNDの構成と名称



商品の仕様

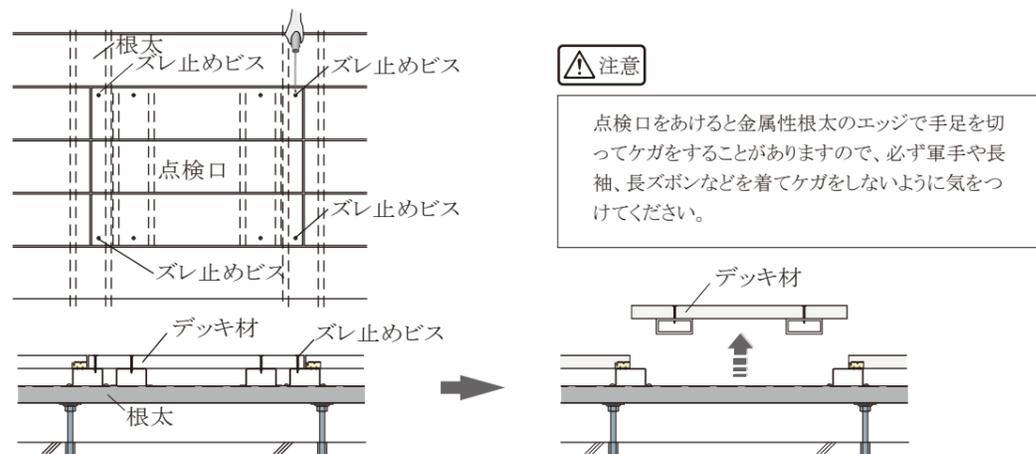
部 材		材 質
デッキ面材	表 層	木粉入りASA樹脂
	基 材	木粉入りABS樹脂
根 太		高耐食性亜鉛メッキ鋼板(ZAM) t=1.6 または2.3mm
押 え 金 具		ステンレス SUS430 t=2mm
束 プ レ ート		高耐食性亜鉛メッキ鋼板(ZAM) t=2.3mm ゴム(EPDM t=2)
束 足		ステンレス SUS304 M12 寸切りボルト
耐 荷 重		4.9kN/m ²

点検口の取り扱い方

● 点検口の取り外し方法(点検口がある場合)

点検口は、通常取り外す必要はありませんが、何らかの理由で取り外す場合は、以下の要領ではずしてください。必ず軍手などの安全具を身に付けて作業してください。

- ① 点検口の4隅(または対角2隅)のビスをドライバーでゆるめて、ビスをとります。点検口を持ち上げて取り外します。元に戻す場合は、逆の手順で取り付けます。



デッキ材の雨シミの清浄方法

デッキ材は、耐候性に優れた樹脂中に天然の木粉を混合した人工木材です。耐久性のある樹脂を使うことで、くさらない、ささくれないといった特徴と同時に、天然の木粉を含むことで、自然な艶になるメリットがあります。

天然の木粉自身は樹脂中に分散していても、完全に木の性質がなくなるわけではありません。そのため、製品に含まれる天然の木粉から木の成分が雨水に溶けだして、デッキ材表面にシミが発生することがあります。耐久性などの性能や人体に影響をあたえるものではありませんが、汚れたように見えるため外観上気になる場合があります。

この雨シミは、時間の経過とともに発生しにくくなりますが、普段雨が吹き込まない部分まで強風で雨が吹き込むと、その雨に濡れた部分で新たに雨シミが発生することがあります。雨シミは、水で流すだけでは取れませんが、洗剤などを使えば清浄になります。

- ・準備するもの
 1. 中性洗剤
 2. スポンジ、布、雑巾など
 3. 洗浄のための水 (バケツなどに水を入れて用意)
 4. デッキブラシまたは不要になった歯ブラシ (場合によっては使用)
- ・方法
 1. スポンジを水に浸し、軽く水をしぼり、中性洗剤をつけます。
 2. 雨シミの部分に水を浸すようにして、すこし強くこすります。
 3. シミが取れにくい場合は、中性洗剤を多めにつけたり、強めにこすると効果的です。
 4. 表面の凹凸の関係上シミが落ちにくい場合は、デッキブラシや不要になった歯ブラシで粗した目にそってこすると落ちやすくなります。
 5. 雨シミが清浄になったら、きれいな水で洗浄部まわり全体を洗い流した後、きれいな雑巾で水気をふき取ります。

デッキ材の日常のお手入れ

- 長期間清掃しないままにしておくと汚れが落ちにくくなるので、汚れがひどくなる前に定期的(最低でも1-2回/年)に清掃をお勧めします。

● 清掃方法

- ・準備するもの
 1. 中性洗剤
 2. スポンジ、布、雑巾など
 3. 洗浄のための水 (バケツなどに水を入れて用意)
 4. デッキブラシまたは不要になった歯ブラシ (場合によっては使用)
- ・方法
 1. デッキ面全体を水で流し、砂や泥を軽く流します。
 2. スポンジを水に浸し、軽く水をしぼり、中性洗剤をつけます。
 3. デッキ表面をスポンジでこすり、泡立て、汚れを落とします。
 4. 汚れのひどい場合は、デッキブラシなどで、こすってかまいません。
 5. 洗剤を水で洗い流し、きれいな雑巾で水気をふき取り、乾かします。
- プラスッドデッキNDは、塗装のように少しの傷で下地まで傷が到達することはありません。およそ1mm程度の表層が着色されていますので、浅いすり傷がついた場合は、サンドペーパーなどで削って、十分目立たなくすることができます。手順①60番程度のサンドペーパーで傷が目立たなくなるまで目に沿って表面を薄く削ります
 ②水を浸した布などで表面を拭きます
 ③削った跡が多少白っぽい場合は周りを含めてサンドペーパーで同じ方向に筋目をつけます

